

豊橋市母子保健推進計画（第2次）

最終評価報告書

令和6年3月

豊橋市

I はじめに

- 「豊橋市母子保健推進計画（第2次）」は、家庭・地域・行政が一体となって本市の母子保健の水準を高め「健やかで心豊かな次世代を育むまちとよはし」を目指すために策定しました。
- 本計画は、平成25年度から令和4年度を計画期間として進めており、今回、終期を迎えるため、この間の取組みについて最終評価を行いました。なお、計画期間は当初は令和4年度まででしたが、国が定めた国民の健康の増進を図るための基本的な方針の期間が1年延長されたことに伴い、最終年度を令和5年度に変更しています。（計画期間：平成25年度から令和5年度までの11年間）

II 最終評価の目的と方法

1 最終評価の目的

「豊橋市母子保健推進計画（第2次）」の最終評価の目的は、策定時や中間評価時（平成28年度）に設定した目標について、達成状況や関連する取組み状況の評価するとともに、この間の健康づくりや子育てに関する社会環境の変化、母子保健事業の制度上の変更などを踏まえ改めて課題を明らかにし、今後の保健事業に反映させることを目的としています。

2 最終評価の方法

各評価指標について、市民アンケートや各種統計結果等の数値をもとに、豊橋市母子保健推進計画（第2次）策定時又は、中間評価時に新たに指標としたものは中間評価時（平成28年度）の数値と直近の実績値（令和4年度、一部は令和5年度）に基づき評価しました。目標値は、中間評価時（平成28年度）に設定した数値を活用し目標達成の評価を行いました。

【基本的な考え方】

次のとおり分類し、分析・評価を行いました。

- A 目標値に達した
- B 現時点で目標値に達していないが、改善傾向
- C 変わらない
- D 悪化している
- E 評価困難

3 計画の目標

本計画の基本理念である「健やかで心豊かな次世代を育むまちとよはし」を実現するために、基本的な方向性や主な取組みを設定しています。目標を達成するために必要な施策の中で重点的に取組むものには、数値目標を掲げ評価を行うこととしています。

基本方針		主な取組み
1 性や命の大切さを理解し、親となるための準備ができる	1-1 親となるための心やからだづくりができ、健康管理ができる	(1) 基本的生活習慣の形成 (2) 命の大切さを理解し、妊娠や性感染症に関する正しい知識の普及
	2 安心して妊娠・出産ができる	2-1 望んだ妊娠・出産ができる (1) 妊娠期の保健・医療サービスの充実及び妊娠中の健康管理 (2) 不妊の相談や支援の充実 2-2 妊娠・出産を支える力が豊富にある (1) 妊娠・出産を支える環境の整備 (2) 妊娠前からの低出生体重児対策及び出産後の支援 (3) 妊娠期からの切れ目のない支援
3 いきいきと子育てができ、子どもが健やかに成長できる	3-1 心身ともに健やかに成長し、子育てができる	(1) 子育てに関する正しい知識の普及 (2) 家庭における基本的生活習慣の形成 (3) 病気や感染症の予防 (4) 発達障害をはじめとする障害や病気の早期発見・早期支援
	3-2 家族全体で育児を支えることができる	(1) 家庭での育児力の強化 (2) 虐待を防止する妊娠期からの支援と子育て中の虐待の予防 (3) 乳幼児突然死症候群の予防と家庭での事故防止 (4) 地域での子育て支援の充実

Ⅲ 全体評価

目標の達成状況については、「A 目標値に達した」と「B 現時点で目標値に達していないが、改善傾向」を合わせると、全体の59.8%で一定の成果が認められた一方、「D 悪化している」が25.3%でした。

基本方針1-1（2分野27指標）、基本方針2-1（2分野5指標）、基本方針2-2（3分野10指標）、基本方針3-1（4分野23指標）、基本方針3-2（4分野22指標）についての目標達成状況は、表1のとおりです。

表1

評価		基本方針	1-1	2-1	2-2	3-1	3-2	全 体
			親となるための心やからだづくりができ、健康管理ができる	望んだ妊娠・出産ができる	妊娠・出産を支える力が豊富にある	心身ともに健やかに成長し、子育てができる	家族全体で育児を支えることができる	
A	目標値に達した	指標数	1	0	0	8	5	14
		割合	3.7%	0.0%	0.0%	34.8%	22.7%	16.1%
B	現時点で目標値に達していないが、改善傾向	指標数	7	4	6	8	13	38
		割合	25.9%	80.0%	60.0%	34.8%	59.1%	43.7%
C	変わらない	指標数	0	0	0	2	0	2
		割合	0.0%	0.0%	0.0%	8.7%	0.0%	2.3%
D	悪化している	指標数	9	1	3	5	4	22
		割合	33.3%	20.0%	30.0%	21.7%	18.2%	25.3%
E	評価困難	指標数	10	0	1	0	0	11
		割合	37.0%	0.0%	10.0%	0.0%	0.0%	12.6%
		指標数	27	5	10	23	22	87

※割合は、小数点以下第2位を四捨五入しているため合計が100%とならない場合があります。

IV 基本方針別評価

【基本方針1】性や命の大切さを理解し、親となるための準備ができる

1-1 親となるための心やからだづくりができ、健康管理ができる

主な取り組み																																																																																																								
<p>(1) 基本的生活習慣の形成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・離乳食講習会や学校と連携した講座を実施し、食事の重要性や食生活に関する正しい知識の普及に取り組みました。 ・運動を目的とした講座や親子の触れ合いなどの講座、のびるん d e スクール、総合型地域スポーツクラブ等、行政・学校・地域の連携により、子どもに運動する機会の提供や身体づくりの取り組みが行われました。 ・学校と連携し、出前講座や学校保健委員会などで基本的な生活習慣の確立のための健康教育を実施し、喫煙や飲酒・食生活に関する正しい知識や、自分の適性体重を知り維持できるための知識啓発に取り組みました。 <p>(2) 命の大切さを理解し、妊娠や性感染症に関する正しい知識の普及</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小（中）学生を対象に、自己肯定感の向上や児童の健全育成等を目的とした赤ちゃんふれあい体験事業や、中・高・大学生向けに出前講座を実施し、命の大切さや性感染症、性的同意や正しい避妊方法など、発達段階に応じた性に関する知識の普及に取り組みました。 ・性に関する理解を深めるため、保護者にリーフレットの配布や、保育士や教員向けに研修を行いました。 																																																																																																								
目標項目																																																																																																								
<p>(1) 基本的生活習慣の形成</p> <p>① 基本的生活習慣の確立</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">目標項目</th> <th rowspan="2"></th> <th>策定時</th> <th>中間評価値</th> <th>直近実績値</th> <th rowspan="2">評価</th> <th>目標</th> <th rowspan="2">調査・資料</th> </tr> <tr> <th>平成23年度</th> <th>平成28年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">朝食を毎日食べる子どもの割合</td> <td>3歳児</td> <td>93.3%</td> <td>94.3%</td> <td>93.1%</td> <td>D</td> <td rowspan="4">100%</td> <td rowspan="4">子ども保健課 健康づくりに 関する アンケート</td> </tr> <tr> <td>小学6年生</td> <td>84.3%</td> <td>82.4%</td> <td>74.2%</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>中学3年生</td> <td>76.4%</td> <td>77.9%</td> <td>68.6%</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>高校3年生</td> <td>78.5%</td> <td>75.1%</td> <td>74.7%</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>これまでの1年間で、学校の体育の授業以外に週1回以上運動をする割合</td> <td>小学6年生</td> <td>87.8%</td> <td>86.3%</td> <td>83.0%</td> <td>D</td> <td>95%</td> <td>健康づくりに 関する アンケート</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">肥満傾向にある小学5年生の割合（H29年度から小学生）</td> <td>男子</td> <td>10.7%</td> <td>9.9%</td> <td>11.4%</td> <td>D</td> <td>9.5%</td> <td rowspan="2">学校保健 統計調査</td> </tr> <tr> <td>女子</td> <td>7.6%</td> <td>8.1%</td> <td>8.8%</td> <td>D</td> <td>7.4%</td> </tr> </tbody> </table> <p>【注】肥満傾向にある小学5年生の割合は、平成29年度から学年ごとではなく小学生全体に変更。</p> <p>② 未成年者の喫煙をなくす</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">目標項目</th> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2"></th> <th>策定時</th> <th>中間評価値</th> <th>直近実績値</th> <th rowspan="2">評価</th> <th>目標</th> <th rowspan="2">調査・資料</th> </tr> <tr> <th>平成23年度</th> <th>平成28年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">未成年者の喫煙の割合</td> <td rowspan="2">中学3年生</td> <td>男子</td> <td>0.0%</td> <td>0.5%</td> <td>—</td> <td>E</td> <td rowspan="2">0%</td> <td rowspan="4">健康づくりに 関する アンケート</td> </tr> <tr> <td>女子</td> <td>0.0%</td> <td>0.0%</td> <td>—</td> <td>E</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">高校3年生</td> <td>男子</td> <td>3.9%</td> <td>1.9%</td> <td>—</td> <td>E</td> <td rowspan="2">0%</td> </tr> <tr> <td>女子</td> <td>0.0%</td> <td>0.0%</td> <td>—</td> <td>E</td> </tr> </tbody> </table> <p>【注】平成23年度および平成28年度は継続的な喫煙を、令和4年度は喫煙経験を集計したため、評価Eとしている。</p>									目標項目		策定時	中間評価値	直近実績値	評価	目標	調査・資料	平成23年度	平成28年度	令和4年度	令和4年度	朝食を毎日食べる子どもの割合	3歳児	93.3%	94.3%	93.1%	D	100%	子ども保健課 健康づくりに 関する アンケート	小学6年生	84.3%	82.4%	74.2%	D	中学3年生	76.4%	77.9%	68.6%	D	高校3年生	78.5%	75.1%	74.7%	D	これまでの1年間で、学校の体育の授業以外に週1回以上運動をする割合	小学6年生	87.8%	86.3%	83.0%	D	95%	健康づくりに 関する アンケート	肥満傾向にある小学5年生の割合（H29年度から小学生）	男子	10.7%	9.9%	11.4%	D	9.5%	学校保健 統計調査	女子	7.6%	8.1%	8.8%	D	7.4%	目標項目			策定時	中間評価値	直近実績値	評価	目標	調査・資料	平成23年度	平成28年度	令和4年度	令和4年度	未成年者の喫煙の割合	中学3年生	男子	0.0%	0.5%	—	E	0%	健康づくりに 関する アンケート	女子	0.0%	0.0%	—	E	高校3年生	男子	3.9%	1.9%	—	E	0%	女子	0.0%	0.0%	—	E
目標項目		策定時	中間評価値	直近実績値	評価	目標	調査・資料																																																																																																	
		平成23年度	平成28年度	令和4年度		令和4年度																																																																																																		
朝食を毎日食べる子どもの割合	3歳児	93.3%	94.3%	93.1%	D	100%	子ども保健課 健康づくりに 関する アンケート																																																																																																	
	小学6年生	84.3%	82.4%	74.2%	D																																																																																																			
	中学3年生	76.4%	77.9%	68.6%	D																																																																																																			
	高校3年生	78.5%	75.1%	74.7%	D																																																																																																			
これまでの1年間で、学校の体育の授業以外に週1回以上運動をする割合	小学6年生	87.8%	86.3%	83.0%	D	95%	健康づくりに 関する アンケート																																																																																																	
肥満傾向にある小学5年生の割合（H29年度から小学生）	男子	10.7%	9.9%	11.4%	D	9.5%	学校保健 統計調査																																																																																																	
	女子	7.6%	8.1%	8.8%	D	7.4%																																																																																																		
目標項目			策定時	中間評価値	直近実績値	評価	目標	調査・資料																																																																																																
			平成23年度	平成28年度	令和4年度		令和4年度																																																																																																	
未成年者の喫煙の割合	中学3年生	男子	0.0%	0.5%	—	E	0%	健康づくりに 関する アンケート																																																																																																
		女子	0.0%	0.0%	—	E																																																																																																		
	高校3年生	男子	3.9%	1.9%	—	E	0%																																																																																																	
		女子	0.0%	0.0%	—	E																																																																																																		

③ 未成年者の飲酒をなくす

目標項目			策定時	中間評価値	直近実績値	評価	目標	調査・資料
			平成23年度	平成28年度	令和4年度		令和4年度	
未成年者の飲酒の割合	中学3年生	男子	3.2%	2.8%	—	E	0%	健康づくりに関するアンケート
		女子	2.0%	1.8%	—	E		
	高校3年生	男子	9.6%	6.9%	—	E	0%	
		女子	11.2%	2.3%	—	E		

【注】平成23年度および平成28年度は継続的な飲酒を、令和4年度は飲酒経験を集計したため、評価Eとしている。

(2) 命の大切さを理解し、妊娠や性感染症に関する正しい知識の普及

① 妊娠に適した年齢に関する知識の普及【新規】

目標項目			策定時	中間評価値	直近実績値	評価	目標	調査・資料
			平成23年度	平成28年度	令和4年度		令和4年度	
妊娠に適した年齢を知っている	高校3年生	—	76.6%	75.5%	D	85%	健康づくりに関するアンケート	

② 望まない妊娠を避ける

目標項目			策定時	中間評価値	直近実績値	評価	目標	調査・資料
			平成23年度	平成28年度	令和4年度		令和4年度	
10代の人工妊娠中絶実施率 (15～19歳の女子人口千人対) (年集計)	豊橋市	5.7	5.8	2.8	A	5	愛知県衛生年報	

③ 性や性感染症に関する知識の普及

目標項目			策定時	中間評価値	直近実績値	評価	目標	調査・資料
			平成23年度	平成28年度	令和4年度		令和4年度	
避妊方法を正確に知っている割合	高3男子	32.8%	34.6%	—	E	60%	健康づくりに関するアンケート	
	高3女子	42.5%	33.2%	—	E	60%		
自分の身体をいつも大切にしている割合	中学3年生	65.0%	63.9%	73.0%	B	90%		
	高校3年生	78.1%	75.7%	85.8%	B	90%		
親とよく会話をする割合	中学3年生	—	89.4%	95.3%	B	100%		
	高校3年生	—	92.9%	94.8%	B	100%		
性器クラミジア患者定点報告数	15～19歳	13人	9人	10人	B	8人	感染症対策室	
	20～24歳	54人	28人	62人	D	25人		
今までに聞いたことのある性感染症の割合	性器クラミジア感染症	高校3年生	68.5%	66.9%	78.2%	B	90%	健康づくりに関するアンケート
	淋菌感染症	高校3年生	31.2%	32.9%	39.3%	B	45%	

【注】避妊方法を正確に知っている割合は、令和4年度アンケートで聴取していないため、評価Eとしている。

【参考値】

目標項目			策定時	中間評価値	直近実績値	評価	目標	調査・資料
			平成23年度	平成28年度	令和4年度		令和4年度	
未成年者の喫煙の割合（過去一度でも吸ったことがある割合）	中学3年生	男子	2.8%	3.3%	1.4%	改善		健康づくりに関するアンケート
		女子	2.5%	2.7%	1.0%	改善		
	高校3年生	男子	9.5%	8.7%	0.4%	改善		
		女子	2.1%	0.4%	0.4%	改善		
未成年者の飲酒の割合（過去一度でも飲んだことがある割合）	中学3年生	男子	41.1%	10.8%	4.8%	改善		
		女子	25.3%	5.9%	2.0%	改善		
	高校3年生	男子	37.3%	25.5%	7.2%	改善		
		女子	42.1%	13.0%	4.1%	改善		

目標項目		策定時	中間評価値	直近実績値	評価	目標	調査・資料
		平成23年度	平成28年度	令和5年度		令和4年度	
避妊方法を正確に知っている割合	高3男子	32.8%	34.6%	38.0%	改善	60%	高校アンケート
	高3女子	42.5%	33.2%	39.6%	悪化	60%	

【注】令和5年度はアンケート方法が異なるため参考値としている。

現状

- ・朝食を毎日食べる子どもの割合は減少し、中学3年生が最も低くなっています。
- ・学校の体育の授業以外に週に1回以上運動する小学6年生の割合は減少しています。
- ・肥満傾向にある小学生の割合は男女ともに増加しています。
- ・妊娠に適した年齢を知っている高校3年生の割合は減少しています。
- ・10代の人工妊娠中絶実施率は減少しています。
- ・自分の身体をいつも大切にしている割合は増加しています。
- ・親とよく会話をする割合は増加しています。
- ・性器クラミジア患者数は、15～19歳は減少し、20～24歳では増加しています。
- ・今までにきいたことのある性感染症の割合は増加しています。

分析・課題

- ・子どもの食生活は、保護者の影響が大きく、朝食を含め三食しっかり食べる習慣は、乳幼児期からの生活習慣が基礎となるため、保護者が食生活の大切さを理解できるよう取り組みが必要です。また、学童期からは学校と連携して児童・生徒へ啓発することが必要です。
- ・子どもの運動量は減少傾向がみられ、運動への取り組み方に個人差が出ていることが考えられるため、学校や地域・家庭が連携し、体を動かす機会を取り入れ、定着させる取り組みが必要です。
- ・電子メディアは急速に普及してきましたが、電子メディアの使用が朝食欠食や運動機会の減少など子どもの生活習慣へ影響していることが考えられます。学校や地域・家庭が連携し、メディアの正しい使用を促す取り組みが必要です。
- ・自分の体を大切に、望まない妊娠を避けるため、正しい避妊方法や性的同意などの正しい知識を身に付けることが重要です。また、希望した人が望んだ妊娠出産ができるよう、将来に向けた心身の健康づくりや、妊孕性について学ぶことが重要です。

【基本方針2】安心して妊娠・出産ができる

2-1 望んだ妊娠・出産ができる

主な取り組み

(1) 妊娠期の保健・医療サービスの充実及び妊娠中の健康管理

- ・早期から産科医療機関等における適切な妊娠の管理が行われることを目的に、妊娠11週未満での妊娠届出が行われるよう医療機関に協力依頼をするとともに、妊婦に定期的な受診を勧奨しました。
- ・喫煙や飲酒が胎児に及ぼす影響について、妊娠届出時の面接で妊婦とその家族等へ知識の提供をしました。
- ・こども保健課及び、こども未来館ここにここに「妊娠・出産・子育て総合相談窓口」を開設し、妊娠届出時には、全ての妊婦と面接し妊娠期からの不安や子育ての相談等に対応できるよう体制を整備しました。
- ・妊娠中の不安を軽減するため、妊娠期から家庭訪問等による支援を行いました。また医療機関や里帰り先の自治体と情報連携し、切れ目のない支援を行いました。

(2) 不妊の相談や支援の充実

- ・不妊治療の経済的負担の軽減を図るため、国及び県の補助制度の活用や市独自の補助制度を創設し、治療に要する費用の一部助成を行いました。
- ・不妊・不育の相談や、流産・死産を経験された方への支援に対応できる体制を整備しました。

目標項目

(1) 妊娠期の保健・医療サービスの充実及び妊娠中の健康管理

① 妊娠中の健康管理

目標項目		策定時	中間評価値	直近実績値	評価	目標	調査・資料
		平成23年度	平成28年度	令和4年度		令和4年度	
妊娠届出週数の割合	11週以内	91.9%	94.5%	94.7%	B	100%	こども保健課
	28週以降	0.4%	0.3%	0.2%	B	0%	
喫煙する妊婦の割合		3.4%	2.1%	1.4%	B	0%	
飲酒する妊婦の割合		2.7%	0.4%	0.2%	B	0%	
妊娠中の不安を軽減できた妊婦の割合		68.9%	53.9%	54.2%	D	80%	出産・子育てに関するアンケート

(2) 不妊の相談や支援の充実

- ・不妊・不育専門相談センターの設立
- ・講演会や交流会の開催

現状

- ・妊娠11週以内での届出の割合は増加しています。
- ・喫煙する妊婦の割合及び飲酒する妊婦の割合は、ともに減少しています。
- ・妊娠中の不安を軽減できた妊婦の割合は減少しています。

分析・課題

- ・すべての妊婦が安心して出産ができるよう、妊娠届出時から継続した支援体制を充実し、医療機関や子育て支援センター等の関係機関と連携し、妊婦に寄り添った支援を継続する必要があります。
- ・不妊・不育の相談のみならず、流産・死産を経験された方への支援など、妊娠・出産を包括的に捉えた相談支援体制の整備が重要です。

【基本方針2】安心して妊娠・出産ができる

2-2 妊娠・出産を支える力が豊富にある

主な取り組み

(1) 妊娠・出産を支える環境の整備

・働きながらも妊娠期を安全に過ごすため、妊娠届出時の面接機会を通じて、母性健康管理指導事項カードを啓発しました。

・妊婦とその家族等へ産前産後のサービスや社会資源の情報を提供し、必要時に活用できるようサポートしました。

(2) 妊娠前からの低出生体重児対策及び出産後の支援

・学校と連携し出前講座を実施し、将来親となるための心と体づくりのために、食生活を中心とした生活習慣や適正体重についての啓発を実施しました。

・低出生体重児の要因の一部である、やせや喫煙・飲酒・口腔衛生の正しい知識の普及を、高・大学生・企業向けの出前講座や妊娠届出時面接等で行いました。

・医療機関との連携により、低出生体重児と保護者の状況に応じて家庭訪問などの支援を実施しました。

(3) 妊娠期からの切れ目のない支援

・「妊娠・出産・子育て総合相談窓口」を開設し、妊娠届出時に全ての妊婦に面接を行い、産後の見通しを立てるためのプランを作成し、必要に応じて妊娠期から妊婦や家族に寄り添った支援を実施しました。

・産後ケア事業や、多胎妊婦や多胎児を育てる家庭への子育て支援サービスの提供など、支援体制を充実しました。

・産婦健康診査により産婦の心身のケアが図られることに加え、支援の必要な方へ早期に家庭訪問や産後ケア事業を導入することで、安心して子育てができる支援体制を整備しました。

目標項目

(1) 妊娠・出産を支える環境の整備

① 家族・近隣・職場などの支援の推進

目標項目		策定時	中間評価値	直近実績値	評価	目標	調査・資料
		平成23年度	平成28年度	令和4年度		令和4年度	
妊娠中、右記の人たちから配慮や支援があった割合	家族	94.9%	96.3%	96.6%	B	100%	出産・子育てに関するアンケート
	近隣や仲間	72.3%	58.6%	38.2%	D	90%	
	職場	74.5%	—	—	E	90%	
就労女性のうち母性健康管理指導事項カードを知っている妊婦の割合		35.1%	37.6%	41.8%	B	60%	

(2) 妊娠前からの低出生体重児対策及び出産後の支援

① 低出生体重児の割合減少

目標項目		策定時	中間評価値	直近実績値	評価	目標	調査・資料
		平成23年度	平成28年度	令和4年度		令和4年度	
低出生体重児数と割合	出生数	336人	288人	226人		—	愛知県衛生年報
	割合	9.6%	9.4%	9.7%	C	9.0%	

② 妊婦や家族の喫煙の減少

目標項目		策定時	中間評価値	直近実績値	評価	目標	調査・資料
		平成23年度	平成28年度	令和4年度		令和4年度	
喫煙する妊婦の割合(再掲)		3.4%	2.1%	1.4%	B	0%	こども保健課
同居家族の喫煙率(4か月児の父親)		38.2%	34.1%	25.4%	B	20%	こども保健課

③妊娠中の歯と口腔の健康の確保

目標項目	策定時	中間評価値	直近実績値	評価	目標	調査・資料
	平成23年度	平成28年度	令和4年度		令和4年度	
妊産婦歯科健康診査受診率	38.0%	47.2%	50.2%	B	60%	こども 保健課
妊産婦歯科健康診査時に歯周炎 (進行した歯周病)を有する者の割合	40.8%	41.7%	53.9%	D	20%	

(3) 妊娠期からの切れ目のない支援【新規】

①妊娠・出産への満足度【新規】

目標項目	策定時	中間評価値	直近実績値	評価	目標	調査・資料
	平成23年度	平成28年度	令和4年度		令和4年度	
妊娠・出産に関する保健医療サービスに満足している者の割合	—	84.5%	88.8%	B	90%	こども 保健課

現状

- ・妊娠中の支援者のうち、家族から支援を受けられている割合は増加している一方で、近隣や仲間から支援を受けられている割合は減少しています。
- ・就労女性のうち母性健康管理指導事項連絡カードを知っている妊婦の割合は増加しています。
- ・低出生体重児の割合は減少しています。
- ・喫煙する妊婦の割合及び同居家族の喫煙率は、ともに減少しています。
- ・妊産婦歯科健康診査の受診率は上昇していますが、歯肉炎を有する者の割合は増加しています。
- ・妊娠・出産に関する保健医療サービスに満足している者の割合は増加しています。

分析・課題

- ・産後ケア事業等により妊産婦支援の充実は図られてきた一方、支援を必要とする時期や内容が多様化しているため、必要な人が必要な時期に社会資源を気軽に活用できる環境のさらなる整備が必要です。
- ・進行した歯肉炎を有する妊産婦を減少させるために、幼少期からの口腔衛生の指導や、妊娠に伴う口腔環境の変化に関する知識の普及が必要です。
- ・将来の生活習慣病のリスクが高まる低出生体重児の要因の一つである若年女性のやせに対する対策として、幼少期からの適切な食生活の継続と、学童・思春期における適正体重の啓発が必要です。

【基本方針3】いきいきと子育てができ、子どもが健やかに成長できる

3-1 心身ともに健やかに成長し、子育てができる

主な取り組み

(1) 子育てに関する正しい知識の普及

・乳幼児健康診査や健診事後相談、健診事後教室、離乳食講習会、家庭訪問等で、発育や発達段階に応じた正しい知識の普及を図りました。

・「妊娠・出産・子育て総合相談窓口」を開設し、専門職による子育て相談や、必要に応じてサービス機関との調整を行いました。内容により管理栄養士・歯科衛生士が相談を行いました。

(2) 家庭における基本的生活習慣の形成

・1歳6か月児健康診査や3歳児健康診査において規則正しい生活についての指導を実施しました。

(3) 病気や感染症の予防

・乳児家庭全戸訪問時に、予防接種やかかりつけ医を持つ必要性について周知しました。

・離乳食講習会や乳幼児健康診査時に、正しい歯みがきの仕方やむし歯予防の知識の普及を実施しました。

(4) 発達障害児をはじめとする障害や病気の早期発見・早期支援

・乳幼児健康診査等で発育発達を確認し、疾患や発達課題（障害）の早期発見・早期支援に努めました。発達課題のある乳幼児については、保護者に対し関わり方のアドバイスを行ったり、必要時継続して支援し、園や医療機関と情報連携を行い、適切な受診や早期療育につながるよう支援しました。

・新生児聴覚検査を行い、聴覚障害を早期に発見する体制を整えました。

・医療的ケア児コーディネーターを配置し、障害がある子を育てる家庭への支援を強化しました。

目標項目

(1) 子育てに関する正しい知識の普及

① 出産後の育児不安の軽減

目標項目	策定時	中間評価値	直近実績値	評価	目標	調査・資料
	平成23年度	平成28年度	令和4年度		令和4年度	
産後2か月未満の家庭訪問実施率	—	84.7%	88.4%	B	90%	こども保健課
これまでの子育てに不安を感じた3歳児の母親の割合	63.8%	68.9%	76.9%	D	55%	出産・子育てに関するアンケート

② 子ども及び子育てに関する情報提供などサービスの充実

目標項目	策定時	中間評価値	直近実績値	評価	目標	調査・資料	
	平成23年度	平成28年度	令和4年度		令和4年度		
乳児健康診査(医療機関)受診者率	88.6%	92.8%	95.7%	A	95%	こども保健課	
乳幼児健康診査受診率	4か月児	97.1%	97.6%	97.1%	C		99%
	1歳6か月児	96.4%	96.6%	97.9%	B		98%
	3歳児	92.9%	95.4%	99.5%	A		97%
乳幼児健康診査 未受診児のうち、状況把握ができた割合(人)	4か月児健康診査	93.5%	100%	100%	A		100%
		129人	201人	280人	—		—
	1歳6か月児健康診査	86.5%	100%	100%	A		100%
		166人	227人	241人	—		—
3歳児健康診査	80.9%	99.6%	100%	A	100%		
	237人	234人	365人	—	—		

【注】乳幼児健康診査受診率について、令和4年度から算定方法を変更（対象者数を『定点の対象者人口』から『年間発送者数（実績）』へ変更）

③母乳育児の推進

目標項目	策定時	中間評価値	直近実績値	評価	目標	調査・資料
	平成23年度	平成28年度	令和4年度		令和4年度	
生後1か月児の母乳育児の割合	47.0%	48.4%	30.4%	D	60%	こども保健課

(2) 家庭における基本的な生活習慣の形成

①基本的な生活習慣の確立

目標項目	策定時	中間評価値	直近実績値	評価	目標	調査・資料
	平成23年度	平成28年度	令和4年度		令和4年度	
朝食を毎日食べる3歳児の割合(再掲)	93.3%	93.8%	93.1%	D	100%	こども 保健課
午後9時までに就寝する3歳児の割合	19.7%	23.5%	22.8%	B	50%	
テレビ・DVDを1日に4時間以上視聴する3歳児の割合	6.8%	5.3%	5.8%	B	5%	

②食育の推進【新規】

目標項目	策定時	中間評価値	直近実績値	評価	目標	調査・資料
	平成23年度	平成28年度	令和4年度		令和4年度	
主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上ほぼ毎日食べる保護者の割合	—	60.5%	34.6%	D	70%	離乳食に関するアンケート

(3) 病気や感染症の予防

①適切な受診行動の促進

目標項目	策定時	中間評価値	直近実績値	評価	目標	調査・資料
	平成23年度	平成28年度	令和4年度		令和4年度	
かかりつけ小児科医をもつ1歳6か月児の親の割合	94.6%	96.9%	91.2%	D	100%	出産・子育てに関するアンケート
休日夜間急病診療所を知っている4か月児の親の割合	87.9%	92.3%	91.9%	B	100%	出産・子育てに関するアンケート

②感染症の予防

目標項目	策定時	中間評価値	直近実績値	評価	目標	調査・資料
	平成23年度	平成28年度	令和4年度		令和4年度	
保護者による仕上げみがきされていない1歳6か月児の割合	—	6.3%	5.8%	B	5%	こども 保健課
むし歯のない3歳児の割合	75.6%	82.4%	90.7%	A	90%	
1歳6か月児健康診査までに四種混合(ジフテリア・百日せき・破傷風・ポリオ)の予防接種を終了している者の割合	—	98.4%	99.0%	A	95%以上	
1歳6か月児健康診査までに麻しん・風しん(MR)の予防接種を終了している者の割合	—	91.6%	94.6%	B	95%以上	

(4) 発達障害をはじめとする障害や病気の早期発見・早期支援

目標項目		策定時	中間評価値	直近実績値	評価	目標	調査・資料
		平成23年度	平成28年度	令和4年度		令和4年度	
乳幼児健康診査受診率 (再掲)	4 か月児	97.1%	97.6%	97.1%	C	99%	子ども 保健課
	1 歳 6 か月児	96.4%	96.6%	97.9%	B	98%	
	3 歳児	92.9%	95.4%	99.5%	A	97%	

現状

- ・産後 2 か月未満の家庭訪問実施率は増加しています。
- ・子育てに不安を感じた 3 歳児の母親の割合は増加しています。
- ・乳児健康診査未受診児の状況把握は100%実施しています。
- ・朝食を毎日食べる 3 歳児の割合は減少しています。
- ・午後9時まで就寝する3歳児の割合は減少しています。
- ・テレビ・DVDを1日に4時間以上視聴する3歳児の割合は減少しています。
- ・主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上ほぼ毎日食べる保護者の割合は減少しています。
- ・かかりつけ小児科医をもつ 1 歳 6 か月児の親の割合は減少しています。
- ・保護者による仕上げみがきがされていない1歳6か月児の割合は減少しています。
- ・むし歯のない 3 歳児の割合は増加しています。
- ・1 歳 6 か月児健康診査までに四種混合・麻しん風しん（MR）の予防接種を修了している割合は増加しています。

分析・課題

- ・子育ての不安を増大させる要因に、コロナ禍により家族以外の支援者とのつながりが薄くなったことや、インターネットを利用し子育ての情報を得ようとする人が増えていることが考えられます。様々な情報が氾濫していることで、より困惑してしまうことにつながっていると考えられるため、様々な機会を通じて正しい知識を啓発していく必要があります。
- ・電子メディアの長時間使用による子どもの健康への影響が懸念されます。また朝食欠食率が増えていることから、引き続き、行政・学校・地域・家庭と連携し、基本的な生活習慣の確立のための取り組みを実施していく必要があります。
- ・子どもの食生活は家庭や環境の影響を受けるため、子どもも大人も望ましい食生活を送ることができるよう、自然と健康的な食生活を送ることができる社会環境づくりや、学校・職場を巻き込んだ取り組みが必要です。
- ・生活改善の意識の高まる妊娠期や子どもの離乳食期に、栄養バランスに配慮した食事を組み立てることができる力を伸ばす取り組みが必要です。
- ・乳幼児期から継続的に身近なところで、子どもの発育発達の相談にのってもらえるよう、かかりつけ医をはじめとした体制づくりが必要です。

【基本方針3】いきいきと子育てができ、子どもが健やかに成長できる

3-2 家族全体で育児を支えることができる

主な取り組み	<p>(1) 家庭での育児力の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・面接、家庭訪問、健康診査の他、母子健康手帳アプリ等の活用を通して、妊娠期から子育て期まで、必要な時期に必要な情報が入手できるように体制を整えました。 ・生後2か月頃までに全乳児家庭を看護師等が訪問し、体重測定や育児相談を行いました。 <p>(2) 虐待を防止する妊娠期からの支援と子育て中の虐待の予防</p> <ul style="list-style-type: none"> ・妊娠届出時に全ての妊婦に面接を行い、産後の支援体制や妊婦の既往歴を確認し、必要に応じて妊娠期から支援を実施しました。 ・乳幼児健康診査では、子どもの発育発達以外に、保護者のフェイススケールや虐待に関する質問等を確認し、虐待の予防と支援を強化しました。 ・豊橋市要保護児童対策ネットワーク協議会を通じて関係機関が連携し、児童虐待から子どもを守る取り組みを行いました。 ・産婦健康診査により産後うつ等の早期発見に努めました。 <p>(3) 乳幼児突然死症候群の予防と家庭での事故防止</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児健康診査や離乳食講習会等で、月齢毎に想定される事故予防について周知しました。 ・妊娠届出時の面接で、喫煙する妊婦へは禁煙指導を行うことや、乳幼児健康診査で同居家族が喫煙している場合は、リーフレットを用いて禁煙指導を行い、乳幼児突然死症候群のリスク軽減に努めました。 <p>(4) 地域での子育て支援の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看護師等や民生委員主任児童委員による「乳児家庭全戸訪問」、こども未来館ここここを中心としたここここサークルや地域子育て支援センターの充実、つどいの広場、園庭開放など、地域で気軽に子育て相談ができる体制が充実しました。また、行政各部門や園・地域が連携し育児支援を実施しました。 ・子育てハンドブックの作成や子育て支援情報ポータルサイト「育なび」の運営の他、Instagramも活用し、豊橋市の子育て支援サービスや情報を発信しました。 ・一時預かりや病児保育、産後ケア事業など、子どもを預かるサービスや保護者の休息ができるサービスが充実しました。
--------	---

目標項目	<p>(1) 家庭での育児力の強化</p> <p>① 家族の育児力の強化</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">目標項目</th> <th>策定時</th> <th>中間評価値</th> <th>直近実績値</th> <th rowspan="2">評価</th> <th>目標</th> <th rowspan="2">調査・資料</th> </tr> <tr> <th>平成23年度</th> <th>平成28年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3歳児の母親の精神的支えになっている配偶者の割合</td> <td>64.7%</td> <td>63.8%</td> <td>78.8%</td> <td>A</td> <td>75%</td> <td>出産・子育てに関するアンケート</td> </tr> <tr> <td>積極的に育児をしている3歳児の父親の割合</td> <td>—</td> <td>59.1%</td> <td>※61.0%</td> <td>B</td> <td>65%</td> <td>こども保健課</td> </tr> </tbody> </table> <p>【注】積極的に育児をしている3歳児の父親の割合は、令和4年度から問診項目が変更しており最終評価が困難なため、令和3年度の数値を以て評価している。</p>	目標項目	策定時	中間評価値	直近実績値	評価	目標	調査・資料	平成23年度	平成28年度	令和4年度	令和4年度	3歳児の母親の精神的支えになっている配偶者の割合	64.7%	63.8%	78.8%	A	75%	出産・子育てに関するアンケート	積極的に育児をしている3歳児の父親の割合	—	59.1%	※61.0%	B	65%	こども保健課
目標項目	策定時		中間評価値	直近実績値	評価		目標		調査・資料																	
	平成23年度	平成28年度	令和4年度	令和4年度																						
3歳児の母親の精神的支えになっている配偶者の割合	64.7%	63.8%	78.8%	A	75%	出産・子育てに関するアンケート																				
積極的に育児をしている3歳児の父親の割合	—	59.1%	※61.0%	B	65%	こども保健課																				

(2) 虐待を防止する妊娠期からの支援と子育て中の虐待の予防

① 子育て中の虐待予防

目標項目		策定時	中間評価値	直近実績値	評価	目標	調査・資料
		平成23年度	平成28年度	令和4年度		令和4年度	
子どもを虐待していると思われる親の割合【注】	4か月児	—	10.8%	6.3%	A	8%	子ども 保健課
	1歳6か月児	—	28.2%	19.6%	A	25%	
	3歳児	—	46.9%	33.4%	A	40%	
子育ての相談相手は「いない」と答える保護者の割合	4か月児	1.6%	1.7%	1.4%	B	1%未満	
	1歳6か月児	1.8%	1.9%	2.6%	D	1%未満	
	3歳児	2.2%	1.5%	2.3%	D	1%未満	
ゆったりとした気分で子どもと過ごせる母親の割合	4か月児	88.9%	90.2%	89.3%	B	95%	
	1歳6か月児	78.8%	77.0%	※83.2%	B	90%	
	3歳児	71.1%	72.9%	※80.5%	A	80%	
乳幼児揺さぶられ症候群（SBS）を知っている親の割合		—	98.6%	96.6%	D	100%	

【注】子どもを虐待していると思われる親の割合は、乳幼児健康診査のアンケートで、「しつけのしすぎがあった」、「感情的に叩いた」、「乳幼児だけを家に残して外出した」、「長時間食事を与えなかった」、「感情的な言葉で怒鳴った」が、この数か月に1つでもあてはまるものがあつたと回答された割合。

【注】ゆったりとした気分で子どもと過ごせる母親の割合は、令和4年度から問診項目が変更しており最終評価が困難なため、令和3年度の数値を以て評価している。

(3) 乳幼児突然死症候群の予防と家庭での事故防止

① 家庭での事故防止

目標項目		策定時	中間評価値	直近実績値	評価	目標	調査・資料
		平成23年度	平成28年度	令和4年度		令和4年度	
事故防止対策を実施している家庭の割合（各年齢の主要な対策について）	4か月児	80.1%	75.7%	80.5%	B	90%	子ども 保健課
	1歳6か月児	46.8%	44.7%	55.7%	B	60%	
	3歳児	90.4%	94.7%	96.1%	B	98%	
心肺蘇生法を知っている親の割合（3歳児の親）		39.0%	41.9%	42.2%	B	60%	出産・子育てに関するアンケート

② 乳幼児突然死症候群の予防

目標項目		策定時	中間評価値	直近実績値	評価	目標	調査・資料
		平成23年度	平成28年度	令和4年度		令和4年度	
乳児期にうつぶせ寝をさせている親の割合		9.2%	0.7%	7.6%	B	なくす	出産・子育てに関するアンケート
生後1か月児の母乳育児の割合（再掲）		47.0%	48.4%	30.4%	D	60%	子ども 保健課
喫煙する妊婦の割合（再掲）		3.4%	2.1%	1.4%	B	0%	
同居家族の喫煙率（4か月児の母親）		3.0%	2.9%	2.7%	B	1%	
同居家族の喫煙率（4か月児の父親）（再掲）		38.2%	34.1%	25.4%	B	20%	

(4) 地域での子育て支援の充実【新規】

① 地域での子育てについて【新規】

目標項目	策定時	中間評価値	直近実績値	評価	目標	調査・資料
	平成23年度	平成28年度	令和4年度		令和4年度	
この地域で子育てをしたいと思う親の割合	—	96.6%	97.0%	B	98%	こども 保健課

現状

- ・3歳児の母親の精神的支えになっている配偶者の割合は増加しています。
- ・子どもを虐待していると思われる親の割合は減少しています。
- ・子育ての相談相手は「いない」と答える保護者の割合は4か月児では減少しましたが、1歳6か月児と3歳児では増加しました。
- ・乳幼児揺さぶられ症候群（SBS）を知っている親の割合は減少しました。
- ・事故防止対策を実施している家庭の割合は増加しました。
- ・子どものための心肺蘇生法を知っている3歳児の保護者の割合は増加しました。
- ・乳児期にうつぶせ寝をさせている親の割合は減少しました。
- ・この地域で子育てをしたいと思う親の割合は増加しました。

分析・課題

- ・配偶者が精神的支えになることについて、育児は母親だけでなく家族で担う意識が高まっています。男性の育児休業取得率の向上など一緒に育児をする父親の割合は増えていることから、支援の対象を家族全体として捉えていく必要があります。
- ・乳幼児揺さぶられ症候群（SBS）は虐待死につながる要因の1つであるため、乳幼児揺さぶられ症候群（SBS）の予防を周知していく必要があります。
- ・すべての妊婦が安心して出産ができるよう、妊娠届出時から継続した支援体制の充実や、医療機関や子育て支援センター等の関係機関と連携し、妊婦に寄り添った支援を継続する必要があります。
- ・この地域で子育てをしたいと思う親の割合の増加に向け、産後ケア事業や多胎妊婦や多胎児を育てる家庭への支援など、さらなる体制整備が必要です。
- ・いきいきと子育てができ子どもが健やかに成長するためには、子どものいる家庭だけでなく地域で子育てをサポートする必要があります。

IV 母子保健事業の推進にあたって

「豊橋市母子保健推進計画（第2次）」および「健康とよはし推進計画（第2次）」の計画終了を機に、「健康とよはし推進計画（第3次）」の中に、「豊橋市母子保健推進計画（次期）」を取り込み、一体のものとして実施します。

胎児期から高齢期に至るまでの健康づくりに連続性と連携性を持たせ、社会全体で健康的な生き方の多様性を尊重し、誰一人取り残さない健康づくりを実施することを目指し、保健、医療、福祉、教育などの関係部局と相互に連携を図りながら取り組むとともに、家庭、地域、学校、企業、ボランティア、行政など各種団体が協働・連携しながら母子保健事業を推進していきます。

